



安芸太田町教育21もみじプラン教育目標 「地球・世界的規模の視野を持ち、世界や地域社会に貢献する人づくりをめざす」									
ミッション 地域社会に貢献できる生徒の育成				ビジョン 主体的で協調的な学びの推進					
学校教育目標 学びを生き方につなぐ教育の創造 めざす生徒像 挑戦 感動 感謝の心をはぐくむ生徒				学校研究主題 深い学びを引き起こす授業づくり ～「知識構成型シグソー法」を取り入れた単元開発と評価を通して～					
中期 経営目標	短期 経営目標	評価項目及び評価方法		評価基準	担当 分掌	中間 評価 最終 評価	達成状況及び改善策	評価委員の意見(中間)	
学力の向上	学習意欲の向上と自主学習の充実	基礎的・基本的な知識・技能の定着	・生徒質問紙「なぜ学ぶのか自ら考える」の肯定的回答85%以上 ・自主学習60分以上の生徒85%以上	A: 80%以上 B: 60~80% C: 60%以下	教務 研究部	B	「『なぜ学ぶのか』自ら考える」の肯定的回答79.5% 自主学習60分以上の生徒 平日67% 休日69.2%	家庭学習環境の大切さを保護者に情報発信していき、自主学習の充実に向けた各家庭での協力を働きかけていくとよいと思います。具体的に向をすべきか分からない生徒に対して、自分自身を見つめさせ、そこから出た課題を克服するために何をすべきかを、生徒との面談を通して考えさせていくとよいと思います。根っこの部分は基礎・基本だと思っています。生徒会が進めている取組はユニークで興味深いです。自主学習に取り組んでいる生徒の割合は増えてきているので、次は内容を少しずつ重視していければよいと思います。	
	協調学習の実践	深い学びを引き起こす授業の実践	・生徒質問紙「友だちの考えを聞いたり、自分の考えを伝えたりすることで、学習内容の理解が深まる」の肯定的回答80%以上 ・各種学力調査で、すべての教科の平均正答率等が全国平均を上回っている。	A: 80%以上 B: 60~80% C: 60%以下			B	「友だちの考えを聞いたり、自分の考えを伝えたりすることで、学習内容の理解が深まる」の肯定的回答97% 9月に全学年で実施した学力診断では、全学年15教科のうち6教科が全国平均を上回っていた。 今年度、先端技術の活用や研修の持ち方を工夫し、協調学習の取組を中心に、継続的に実践・協議・改善を行っている。学力調査の結果については、全国平均に達しなかった教科について原因を分析し、授業改善を図る。	協調学習の研究実践の中で生徒のつづきやきに焦点をあて、生徒の深い学びにつなげるための分析を通して、指導法の工夫改善をさらに進めていってください。 読書の質と量は学力との相関があると思います。とにかく読む、ひたすら読む、何が何でも読む仕組みを生徒会と一緒に考えてはどうでしょうか。このことが、遠回りのように思えても、語彙力・創造力・推理力・見通す力・探究力などの育成につながると思います。言葉を正しく使う力を育成するために、国語や英語に力を入れていっていただければと思います。より高い教養を身に付けるために、学び続けることを大切にしていってほしいと思います。
社会に貢献する力の育成	自らの成長が実感できる	進路指導の充実及び進路実現に向かう意欲・態度の向上	・生徒質問紙「将来どんな大人になりたいか考え、そのために取り組んでいる」の肯定的回答率100%	A: 80%以上 B: 60~80% C: 60%以下	生徒 安全部	A	1年生2名、2年生1名、3年生1名が「あまりあてはまらない」と回答をしている。(肯定的回答89.7%)	「将来どんな職業に就くのか」ということだけでなく、「将来どんな大人になりたいか」ということに視点をあてた取組はよいと思います。一方評価について、焦点がぼやけたり曖昧にならないように注意が必要だと思っています。コロナ禍の影響で、職場体験学習などの学校行事や地域行事が制限されているが、地域の大人の考えを聞いたり一緒に体験したりする活動を意図的に仕組むとよいと思う。目標を自覚できているのとそうでないのとでは、学びに向かう姿勢も異なると思うので、引き続き自分の将来像をイメージさせていくことを大切にしていってください。	
	実践意欲の育成	自己肯定感の向上	・成功体験と自信(i-check)の肯定的回答率85%以上	A: 80%以上 B: 60~80% C: 60%以下			A	「成功体験と自信(i-check)」の肯定的回答87.4% 1年生: 85.7%, 2年生: 92.8%, 3年生: 83.9%	中学生は心身ともに成長・発達が著しい時期です。悩みや違いも受け止めながら、自分自身をしっかりと見つめ直していけるとよいと思います。また、周囲の大人は、大きな気持ちで接する事も大切だと思います。
	地域貢献の意欲と態度の育成	地域貢献活動への参加	成果指標 ・社会参画(i-check)の肯定的回答率85%以上 ・地域貢献活動後の生徒の感想(肯定的記述)	A: 80%以上 B: 60~80% C: 60%以下			A	「社会参画(i-check)」の肯定的回答89.6% 1年生: 90.4%, 2年生: 90.4%, 3年生: 88.0%	校外での地域交流の面だけでなく、生徒自身が登下校時に感じていることなどをグループ協議の中で出し合い、行動化していくことも地域貢献活動につながると思います。大がかりな地域貢献活動だけでなく、各自自治体とも連携して、普段の生活の中での困り事を解決することもあってよいと思います。
信頼される学校をつくる	学校の公開性の向上	保護者・地域への教育公開及び情報発信の充実	・保護者の学校満足度…85%以上 ・教職員の「生徒と向き合う時間が確保できていると感じる」に対する肯定的回答率90%以上	A: 80%以上 B: 60~80% C: 60%以下	総務部	A	保護者の学校満足度は93.3% 教職員の「生徒と向き合う時間が確保できていると感じる」に対する肯定的回答90.9%	先生が困ったことや失敗したことなども話せたら保護者との距離も近くなって、信頼関係も深くなるのではないのでしょうか。	